

需給調整市場

三次調整力①②基準値計画および需要家リスト・パターンにおける受領業務ビジネスプロトコル標準規格(Ver.3A)記載要領

**本資料、XMLスキーマ、入力支援ツール(β版)は
意見募集の参考資料であり、意見募集の対象とは
なりませんのでご注意ください。**

2021年3月11日

三次調整力①基準値計画等および三次調整力①需要家リスト・パターンにおける² 受領業務ビジネスプロトコル標準規格（需給調整市場編）(Ver.3A)記載要領

はじめに

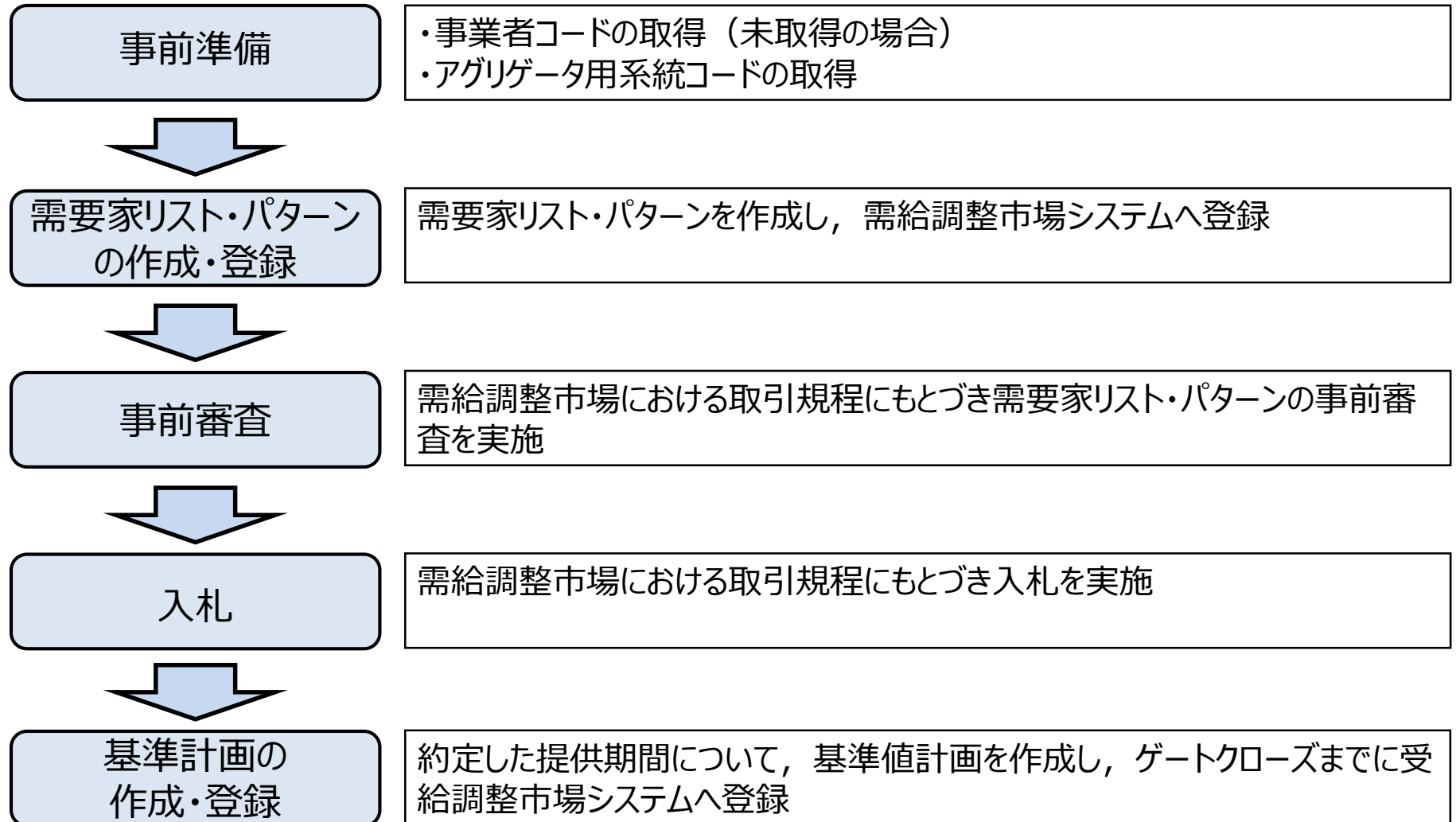
この記載要領は、BP標準規格を利用して、取引会員（「アグリゲーションコーディネータ及び指令制御・監視方法が簡易指令で指令方式が差分指令の発電機を持つ事業者」（以下、「アグリゲーションコーディネータ等」という。））から需給調整市場へ提出する「三次調整力①基準値計画及び発電計画電力計画」（以下、「基準値計画等」という。）および需要家リスト・パターンのビジネスプロトコル標準規格の解釈やデータ入力の考え方について、入力支援ツールの記載例を用いて解説を行うものです。

対象者

需給調整市場にアグリゲーションコーディネータ等として、三次調整力①基準値計画等および需要家リスト・パターンのを提出して頂く需給調整市場の取引会員を対象としています。

全体の概略フロー（アグリゲータ例）

取引会員に実施していただく作業の概略フローは以下の通りです。



事前準備（各種コードの取得（アグリゲータ例））

- 需要リソースを用いて、需給調整市場システムへ入札および基準値計画を提出するためには、事業者コード（またはアグリゲータ事業者コード）とアグリゲータ用系統コードが必要となります。
- 需要リソースと用いて参入する事業者で、現在は事業者コードを取得していない場合は、アグリゲータ用事業者コードとアグリゲータ用系統コードを同時に申込みいただきます。

1 アグリゲータ用 事業者コード 申請

- 事業者コードを取得していない場合、アグリゲータ用事業者コード申込様式書に必要事項を記入のうえ、アグリゲータ用系統コードの申請と併せて、広域機関へ申込みをお願いします。（接続供給等で事業者コードを取得済みの場合は不要）
アグリゲータ用事業者コード申込書：各一般送配電事業者の需給調整市場HPへ掲載

取引会員

○事業者コード申込書

・氏名
・連絡先
・会社名 等

広域機関
運用部
マスター担当

メール：
code@occto.or.jp

○登録完了通知
・事業者コード

2 アグリゲータ用 系統コード申請

- 次項掲載のアグリゲータ用系統コード専用申込様式書に必要事項を記入のうえ、広域機関へ申込みをお願いします。
アグリゲータ用系統コード専用申込書：各一般送配電事業者の需給調整市場HPへ掲載

取引会員

○アグリゲータ用
系統コード申込書
・事業者コード 等

広域機関
運用部
マスター担当

メール：
code@occto.or.jp

○登録完了通知
・アグリゲータ用
系統コード(2桁目"Y")

事業者コードの取得（申請（アグリゲータ例））

- 事業者コードを取得していない場合で需給調整市場へアグリゲーションコーディネータとして参入するには、事前に「需給調整市場アグリゲータ用事業者コード」の取得が必要です。
- アグリゲータ用事業者コードの申請の際は、参入予定エリアのアグリゲータ用系統コードの申請と同時にお願いします。
- このため、下記メール例を参考に、件名および本文に「需給調整市場アグリゲータ用事業者コードおよび系統コード」の申請である旨を記載し、申請書を添付のうえ、広域機関へ需給調整市場アグリゲータ用系統コードを申請下さい。

1 【需給調整市場アグリゲータ用事業者コードと系統コードの申請メール記載例】

宛先：	code@occto.or.jp	
件名：	需給調整市場アグリゲータ用事業者コードおよび系統コード申請	件名は“需給調整市場アグリゲータ用事業者コードおよび系統コード申請”と記載
添付ファイル：	 アグリゲータ用事業者コード申請書  アグリゲータ用系統コード申請書	事業者コードと系統コードの申請書を添付
本文：	電力広域的運営推進機関運用部 マスター担当 御中 グローバルリソース* * アグリゲータ 運用部 ○○と申します。 添付のとおり、『需給調整市場アグリゲータ用事業者コードと系統コード』を申請します。 本文にも“需給調整市場アグリゲータ用事業者コードと系統コード”の申請である旨を明記	

事業者コードの取得（申請様式（アグリゲータ例））

需給調整市場アグリゲータ用事業者コードは、下記アグリゲータ用事業者コード専用申込書にて、需給調整市場アグリゲータ用系統コードの申請書と併せて、広域機関へ申請お願いします。

1 【需給調整市場アグリゲータ用事業者コード専用申込書記載例】

需給調整市場アグリゲータ用事業者マスタ申請			
広域機関入力項目			
事業者コード			
事業者入力項目			
申請区分	記載不要		
申請区分	新規		
申請内容			
送配電ライセンス			
契約開始日 ※2016/02/01	2016/02/01		
適用開始日※	2016/02/01	適用終了日	9999/12/31
事業者名称	グローバルリソース**アグリゲータ		
事業者名略称	グローバルリソース		
郵便番号	261-000*		
住所	千葉県千葉市美浜区** - ** - *		
ドメイン名			
連絡者所属	リソースソリューション企画部電力受給グループ		
連絡者氏名	変更不可 鈴木 ○○		
連絡者電話番号	0438-**-*****	連絡者FAX番号	
連絡者メール	suzuki **@global.resource.**.co.jp		
ライセンス区分 （1件は必須入力）	区分なし(需要抑制)		

アグリゲータ用系統コードの取得（申請）

- 「需給調整市場アグリゲータ用系統コード」は、2桁目が“Y”であり、従来の発電計画提出用系統コードとコード体系が異なります。
- 下記メール例のとおり、件名および本文に「需給調整市場アグリゲータ用系統コード」の申請である旨を記載し、申請書を添付のうえ、広域機関へ需給調整市場アグリゲータ用系統コードを申請して下さい。

2 【需給調整市場アグリゲータ用系統コード申請メール記載例】

宛先：	code@occto.or.jp
CC：	
BCC：	
件名：	需給調整市場アグリゲータ用系統コード申請
添付ファイル：	 アグリゲータ用系統コード申請書
本文：	電力広域的運営推進機関運用部 マスター担当 御中 グローバルリソース ＊ ＊ アグリゲータ 運用部 ○○と申します。 添付のとおり、『需給調整市場アグリゲータ用系統コード』を申請します。

件名は“需給調整市場アグリゲータ用系統コード申請”と記載

次項の申請書を添付

本文にも“需給調整市場アグリゲータ用系統コード”の申請である旨を明記

アグリゲータ用系統コードの取得（申請様式）

- 需給調整市場アグリゲータ用系統コードは、下記アグリゲータ用系統コード専用申込書にて広域機関に申請をお願いします。
- アグリゲータ用系統コードの登録には事業者コードが必要となりますので、事業者コードを取得していない場合は、アグリゲータ用事業者コードとアグリゲータ用系統コードを同時に申請してください。

2 【需給調整市場アグリゲータ用系統コード専用申込書記載例】

需給調整市場アグリゲータ用系統コード申請			
事業者入力項目			
申請区分			
申請区分	新規		
申請内容			
電源所属エリア名	東京	電源種別	調整電源
電圧種別	低圧	変更不可	
契約開始日	2021/04/01		
適用開始日	2021/04/01	適用終了日	2099/12/31
同時最大受電電力	999999999 kW		
発電所名	グローバルリソース**アグリゲータ		
発電所名略称	アグリ804*3		
事業者コード	804*3	事業者名称(発電所所有者) グローバルリソース**アグリゲータ	
郵便番号	261-000*		
住所	千葉県千葉市美浜区**-*-*		
連絡者所属	リソースソリューション企画部電力受給グループ		
連絡者氏名	鈴木 ○○		
連絡者電話番号	0438-**-****	連絡者FAX番号	
連絡者メール	suzuki **@global.resource.**.co.jp		
所属事業者情報			
所属事業者コード	804*3	所属事業者名称	グローバルリソース**アグリゲータ

発電所名には事業者名称を記載

“アグリ”&所属事業者コードを記載
(事業者コード未取得の場合、“アグリ”のみ記載)

事業者コード未取得の場合、事業者コードと同時に申請

三次調整力①基準値計画等記載要領

基準値計画等の提出（1 / 3）

・三次調整力①において、 Δ kWのアセスメントおよび調整力kWhの算定は、発電販売計画および基準値計画を基に実施します。

2-6. 発電販売計画および 基準値計画の提出方法

a. 概要（1/3）

104

- 三次調整力①において、 Δ kWのアセスメントおよび調整力kWhの算定は、「発電リソースを用いる場合」・「需要リソースを用いる場合で事前予測型を選択しているとき」・「需要リソースを用いる場合で直前計測型を選択しているとき」のそれぞれにおいて、以下の計画等をもとに実施します。

	アセスメントⅠ	アセスメントⅡ	調整力kWh
発電リソースを用いる場合	発電販売計画	1分発電計画電力計画 ※簡易指令システムで接続し、出力変化量指令を選択した場合に限ります。	発電販売計画
需要リソースを用いる場合で事前予測型を選択しているとき	基準値計画	1分基準値電力計画（事前予測型）	基準値計画
需要リソースを用いる場合で直前計測型を選択しているとき	簡易指令システムで接続する場合は、商品ブロック開始時刻の5分前から開始時刻までの1分ごとの需要実績（託送供給等約款で定める損失率で修正した値） ※専用線オンラインで接続する場合は、属地TSOと調整した送信周期ごとの需要実績	同左	同左 + 直前計測型 基準値内訳実績

基準値計画等の提出（2 / 3）

- ・入札するリソースに応じた基準値計画等を需給調整市場システムへ提出します。

2-6. 発電販売計画および 基準値計画の提出方法

a. 概要（2/3）

105

- 発電販売計画は、発電契約者が広域機関に提出している値が用いられます。なお需給調整市場の契約を締結している電源に関しては、約定の有無に関わらず、一律“調整電源”として広域機関へ発電計画を提出していただきます。
- 取引会員は、入札するリソースに応じて、入札するリソースが調整を行わない場合の1分発電計画電力計画、事前予測型基準値計画（基準値計画と1分基準値電力計画（事前予測型）を記載したもの）、直前計測型基準値内訳実績を作成し、需給調整市場システムへ登録します。
- 直前計測型を選択している場合で簡易指令システムで接続するときは、商品ブロック開始時刻の5分前から開始時刻までの1分ごとの需要実績を簡易指令システムを通じて属地TSOへ送信していただきます。
※専用線オンラインで接続する場合は、属地TSOと調整した送信周期ごとの需要実績を専用線オンラインを通じて属地TSOへ送信していただきます。

【発電機および需要家リスト・パターンの計画提出フロー】



※1 約定した商品ブロックの開始時刻の1時間前までに登録していただきます。

※2 専用線オンラインで接続する場合は、属地TSOと調整した送信周期ごとの需要実績を専用線オンラインを通じて属地TSOへ送信していただきます。

※3 1分ごとの需要実績を当該時間の終了時刻から3分以内に送信していただきます。

※4 約定した商品ブロック開始後から翌月10日までに登録していただきます。



取引規程 第6章 第34条

取引ガイド(三次調整力①)より抜粋

Transmission Operators, JAPAN

基準値計画等の提出（3 / 3）

- ・発電販売計画及び基準値計画はそれぞれ提出対象期間が異なります。

2-6. 発電販売計画および 基準値計画の提出方法

a. 概要（3/3）

106

- 約定時間帯と計画等の提出対象期間は下表のとおりとなります。

【約定時間帯と計画等提出対象期間】

■ : 約定期間 ■ : 計画等提出対象期間

発電販売計画	約定期間		時刻	約定有無にかかわらず、常時、 発電販売計画を提出
	計画提出対象期間		時刻	
事前予測型基準値計画	約定期間		時刻	約定時間帯と約定時間前1時間の計画を提出
	計画提出対象期間		時刻	
商品ブロック開始時刻の5分前から開始時刻までの1分ごとの需要実績※	約定期間		時刻	約定した各商品ブロック開始時刻の5分前から開始時刻までの需要実績を提出
	計画提出対象期間		時刻	
・1分発電計画電力計画 ・直前計測型基準値内訳実績	約定期間		時刻	約定時間帯の計画を提出
	計画提出対象期間		時刻	

※ 直前計測型を選択し、専用線オンラインで接続する場合は、属地TSOと調整した送信周期ごとの需要実績



取引規程 第6章 第34条

事前予測型基準値計画の作成単位と提出期限

・事前予測型基準値計画の提出方法は下記の通りです。

2-6. 発電販売計画および 基準値計画の提出方法

C. 需要家リスト・パターン(1/12)

110

- 需要リソースを用いる場合で事前予測型を選択したときは、約定した商品ブロックの開始1時間前と、約定対象時間帯の事前予測型基準値計画（基準値計画および1分基準値電力計画（事前予測型）を記載したもの）を約定した商品ブロックの開始時刻1時間前までに、需給調整市場システムへ登録※¹いただきます。
- ※1 事前予測型基準値計画の未提出または不備がある場合、供出可能量はゼロとして扱います。
- なお、2ブロック以上連続して約定した場合でも、事前予測型基準値計画は約定した商品1ブロックにつき1ファイル作成および提出いただきます。

【約定ブロックと基準値計画の提出期限例】

4月3日	～ ～	9:00～ 12:00	12:00～15:00	15:00～18:00	18:00 ～ 21:00	～ ～
約定有無	～ ～	無	有	有	無	～ ～
計画 提出可否		不要	必要(提出ファイル：事前予測型基準 値計画①)	必要(提出ファイル：事前予測型基準値 計画②)	不要	

事前予測型基準値計画①の提出期限

(4月3日11時)

事前予測型基準値計画②の提出期限

(4月3日14時)

		時間 →							
対象時刻		14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30
事前予測型基準値計画②		160	160	180	180	170	160	160	160
対象時刻	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	
事前予測型基準値計画①	190	180	180	180	170	160	160	160	

※14:00～15:00のコマについて、事前予測型基準値計画①と事前予測型基準値計画②で不整合が生じている場合は、先に提出された事前予測型基準値計画①の値を優先いたします。

※実際には、30分コマごとのkWhに加えて、1分ごとの基準値電力を含みます。



取引規程 第6章 第34条

取引ガイド(三次調整力①)より抜粋

事前予測型基準値計画について

- ✓ 基準値は、需要抑制指令がない場合の30分あたりの予測需要(kWh)を需要BG単位に想定します。また、想定した合計基準値の1分値(kW)を30分 分記載します。
- ✓ 需給調整市場で約定した1ブロック毎に約定ブロックの前1時間と約定ブロックの基準値を需要BG単位に作成し、需給調整市場システムにゲートクローズまでに登録します。

【三次調整力①事前予測型基準値計画記載例（三次調整力①②事前予測型基準値計画入力支援ツール）】

□ : 必須入力箇所 ■ : 自動入力箇所 ■ : マクロで変更

三次調整力①の事前予測型基準値計画入力支援ツール

対象商品変更	対象年月日	20220403	読み込みファイル名				
対象商品ブロック変更	対象商品ブロック	ブロック②	出力先				
小売電気事業者数変更	対象需要家リスト・パターン	パターン①					
基準値XML読み込み	基本情報						
基準値XML出力	情報区分	0131	名称▲	XMLファイル名			
XMLファイル妥当性検証	提出先事業者	10033	東京電力PG	出力ファイル名情報			
終了(上書保存)	送信事業者	8***3	グローバルリソースアグリゲーター	対象時期の開始日			
	提出者(アグリゲータ用システムコード)	3Y**5	グローバルリソースアグリゲーター	約定対象開始コマ番号			
	運用モード	通常		アグリゲータ用システムコード			
				電源等コード			
				MMS			

合計基準値		基準値内訳			
		小売電気事業者1	小売電気事業者2	小売電気事業者3	小売電気事業者4
		小売電気事業者コード	小売電気事業者コード	小売電気事業者コード	小売電気事業者コード
合計基準値 = Σ 基準値内訳		42**3	41**3	40**3	41**7
		小売電気事業者名称▲	小売電気事業者名称▲	小売電気事業者名称▲	小売電気事業者名称▲
		東京エナジー	関東でんき	六本木パワー	タワレジデンス

対象ブロック	#	時間帯	合計基準値(kWh)	小売電気事業者1	小売電気事業者2	小売電気事業者3	小売電気事業者4
ブロック①	47	23:00~23:30					
	48	23:30~24:00					
	01	0:00~0:30					
	02	0:30~1:00					
	03	1:00~1:30					
	04	1:30~2:00					
ブロック②	05	2:00~2:30	8,900	1,500	2,100	3,000	2,300
	06	2:30~3:00	8,600	1,500	2,100	3,000	2,000
	07	3:00~3:30	8,400	1,500	2,000	3,000	1,900
	08	3:30~4:00	8,300	1,500	2,000	3,000	1,800
	09	4:00~4:30	8,300	1,500	2,000	3,000	1,800
	10	4:30~5:00	8,700	1,500	2,000	3,500	1,700
	11	5:00~5:30	9,400	1,500	2,100	4,000	1,800
	12	5:30~6:00	10,200	1,500	2,100	4,500	2,100
	13	6:00~6:30					
	14	6:30~7:00					

30分平均基準値 - 合計基準値	30分平均基準値(kWh)				
不整合電力量(kWh)		01	02	03	04
0	8,900	17,900	17,900	17,900	17,900
0	8,600	17,200	17,200	17,200	17,200
0	8,400	16,800	16,800	16,800	16,800
0	8,300	16,600	16,600	16,600	16,600
0	8,300	16,600	16,600	16,600	16,600
0	8,700	17,400	17,400	17,400	17,400
0	9,400	18,800	18,800	18,800	18,800
0	10,200	20,400	20,400	20,400	20,400

合計基準値の1分値(kW)を30分分入力

内訳の小売電気事業者数は任意に増減可能

“対象ブロック+前1時間”以外は入力不可

“対象ブロック+前1時間”以外は入力不可

事前予測型基準値計画の記載方法（対象年月日） 他

対象年月日	20220403
対象商品ブロック	ブロック②
対象需要家パターン	パターン⑧

データ項目	説明
対象年月日	当該計画が対象とする年月日。入力は、YYYYMMDDの数字8桁。
対象商品ブロック	当該計画が対象とする商品ブロック。商品ブロックの対象時間は下記の通り。 ・ブロック①：00時00分から03時00分まで ・ブロック②：03時00分から06時00分まで ・ブロック③：06時00分から09時00分まで ・ブロック④：09時00分から12時00分まで ・ブロック⑤：12時00分から15時00分まで ・ブロック⑥：15時00分から18時00分まで ・ブロック⑦：18時00分から21時00分まで ・ブロック⑧：21時00分から24時00分まで
対象需要家リスト・パターン	当該計画が対象とする需要家リストのパターン。 なお、通常運用で利用できる需要家リストのパターンは、パターン①～パターン⑳とする。

事前予測型基準値計画の記載方法（基本情報）

基本情報		
	コード	名称▲
情報区分	0131	三次調整力①事前予測型基準値計画
提出先事業者	10033	東京電力 P G
送信事業者	8***3	グローバルリソースアグリゲータ
アグリゲータ用系統コード	3Y**5	グローバルリソースアグリゲータ
運用モード	通常	

データ項目	説明
情報区分コード	当該計画の種別を示すコード。“0131”（三次調整力①の事前予測型基準値計画）固定。
提出先事業者コード	需給調整市場システムを介して計画を提出する一般送配電事業者を示すコード。 ・10011:北海道電力ネットワーク株式会社, ・10022:東北電力ネットワーク株式会社, ・10033:東京電力パワーグリッド株式会社, ・10044:中部電力パワーグリッド株式会社, ・10055:北陸電力送配電株式会社, ・10066:関西電力送配電株式会社, ・10077:中国電力ネットワーク株式会社, ・10088:四国電力送配電株式会社, ・10099:九州電力送配電株式会社, ・10100:沖縄電力株式会社
提出先事業者名称▲	提出先事業者の名称。入力有無は任意。
送信事業者コード	計画を提出する事業者の事業者コード(4桁)+提出先事業者コードの下1桁。 例)事業者コードXXXX 東京電力パワーグリッドエリアに提出 →送信事業者コード:XXXX3
送信事業者名称▲	送信事業者の名称
アグリゲータ系統コード	需給調整市場に入札するためのアグリゲータ用系統コード。2桁目“Y”。
アグリゲータ系統コード名称▲	需給調整市場に入札するためのアグリゲータの名称。入力有無は任意。
運用コード	「通常」は計画提出用。「テスト」はデータ試験用。

事前予測型基準値計画の記載方法（出力ファイル名情報）

出力ファイル名情報	
XMLファイル名	W9_0131_20220403_07_3Y**5_MMS.xml
対象年月日	20210403
約定対象開始コマ	07
アグリゲータ用系統コード	3Y**5
電源等コード	MMS

データ項目	説明
XMLファイル名	以下のデータ項目を用いて作成。項目間は“_”(アンダーバー)とする。
BPID副機関コード	需給調整市場を示す“W9”固定。
情報区分コード	三次調整力①事前予測型基準値計画を示す“0131”固定。
対象年月日	“対象年月日”の入力値が自動反映。
約定対象開始コマ	“対象商品ブロック”の選択値から下記の変換後の値を自動反映。 “ブロック①:01”, “ブロック②:07”, “ブロック③:13”, “ブロック④:19”, “ブロック⑤:25”, “ブロック⑥:31”, “ブロック⑦:37”, “ブロック⑧:43”
アグリゲータ用系統コード	“アグリゲータ系統コード”の入力値が自動反映。
電源等コード	需給調整市場システムへ登録したアグリゲーションコーディネータを示すコードを入力。

■ 注意事項

同一ファイル名の計画を受信した場合、需給調整市場システム内部では、先に提出された計画に、後から提出された計画が上書きされます(システム上、一旦提出された計画を取り下げることはできません)。

事前予測型基準値計画の記載方法（基準値）

小売電気事業者数変更

合計基準値		基準値内訳	
		小売電気事業者 1	小売電気事業者2
合計基準値 = Σ基準値内訳	小売電気事業者コード	小売電気事業者コード	
	42**3	41**3	
	小売電気事業者名称	小売電気事業者名称	
	東京エナジー	関東でんき	
合計基準値(kWh) ▲		基準値(kWh)	基準値(kWh)
■ 注意事項 小売電気事業者数に合わせて、支援ツールの小売電気事業者数を増減させて下さい。 基準値に空白箇所があるとエラーとなります。			
	8,900	1,500	2,100
	8,600	1,500	2,100
	8,400	1,500	2,000
	8,300	1,500	2,000
	8,300	1,500	2,000
	8,700	1,500	2,000
	9,400	1,500	2,100
	10,200	1,500	2,100

データ項目	説明
合計基準値(kWh)	入力した基準値内訳を30分コマ毎に合計した値が自動反映。入力有無は任意。
小売電気事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を示す事業者コード。
小売電気事業者名称	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者の名称。入力有無は任意
基準値(kWh)	リソースの基準値を小売電気事業者毎の入力。なお、選択した“対象商品ブロック”に対し、当該対象ブロックの前 1 時間と当該商品ブロックの対象時間のみに基準値の入力を許可する。

(参考) 1分タイムスロットの定義

- ・事前予測型基準値計画、1分発電計画電力計画では30分コマ毎に30個の1分値を扱います。30分コマ毎に1分値の時間を表すコードとしてタイムスロット番号（TS番号）を用います。
- ・タイムスロット番号が示す対象時間は以下の通りです。

タイムスロット番号と対象時間

TS番号	01	02	03	04	...	29	30
対象分	0分or30分	1分or31分	2分or32分	3分or33分	...	28分or58分	29分or59分
対象秒	0秒～59秒	0秒～59秒	0秒～59秒	0秒～59秒	...	0秒～59秒	0秒～59秒

○(参考)コマ番号と対象時間

コマ番号	01	02	03	04	...	47	48
対象時間	00:00:00 ～ 00:29:59	00:30:00 ～ 00:59:59	01:00:00 ～ 01:29:59	01:30:00 ～ 01:59:59	...	23:00:00 ～ 23:29:59	23:30:00 ～ 23:59:59

OTS番号を用いた時間表現例

TS番号	01	02	03	04	...	29	30
対象分	0分or30分	1分or31分	2分or32分	3分or33分	...	28分or58分	29分or59分
対象秒	0秒～59秒	0秒～59秒	0秒～59秒	0秒～59秒	...	0秒～59秒	0秒～59秒

10:00:00

TS番号:01

10:58:32

TS番号:29

・10時58分32秒は、22コマ29タイムスロット

(参考) 事前予測型基準値計画のXMLファイル構造

・事前予測型基準値計画のXMLファイル構造は下記の通りです。

【ヘッダ】

情報区分コード：0131, 送信者コード・名称, 受信者コード・名称, アグリゲータ用系統コード・名称, 対象年月日, 対象ブロック, 需要家リスト・パターン

【合計基準値】



【基準値内訳】

M11
(999)

M12
(8)

M12
(8)

【対象ブロック開始60分前】
対象時刻コード, 合計基準値

【対象ブロック開始30分前】
対象時刻コード, 合計基準値

【対象ブロック開始0分】
対象時刻コード, 合計基準値

【対象ブロック開始30分後】
対象時刻コード, 合計基準値

⋮

【対象ブロック開始150分後】
対象時刻コード, 合計基準値

【対象ブロック開始60分前】
対象時刻コード, 基準値

【対象ブロック開始30分前】
対象時刻コード, 基準値

【対象ブロック開始0分】
対象時刻コード, 基準値

【対象ブロック開始30分後】
対象時刻コード, 基準値

⋮

【対象ブロック開始150分後】
対象時刻コード, 基準値

【小売電気事業者 2】
小売電気事業者コード・名称

【対象ブロック開始60分前】
対象時刻コード, 基準値

【対象ブロック開始30分前】
対象時刻コード, 基準値

【対象ブロック開始0分】
対象時刻コード, 基準値

【対象ブロック開始30分後】
対象時刻コード, 基準値

⋮

【対象ブロック開始150分後】
対象時刻コード, 基準値

【1分基準値電力計画（事前予測型）】



【対象ブロック開始60分前】
対象時刻コード

タイムスロット
1分基準値電力

【対象ブロック開始30分前】
対象時刻コード

タイムスロット
1分基準値電力

【対象ブロック開始0分】
対象時刻コード

タイムスロット
1分基準値電力

【対象ブロック開始30分後】
対象時刻コード

タイムスロット
1分基準値電力

⋮

【対象ブロック開始150分後】
対象時刻コード

タイムスロット
1分基準値電力

直前計測型基準値内訳実績の作成単位と提出期限（1 / 4）

・直前計測型基準値内訳実績の提出方法は下記の通りです。

2-6. 発電販売計画および 基準値計画の提出方法

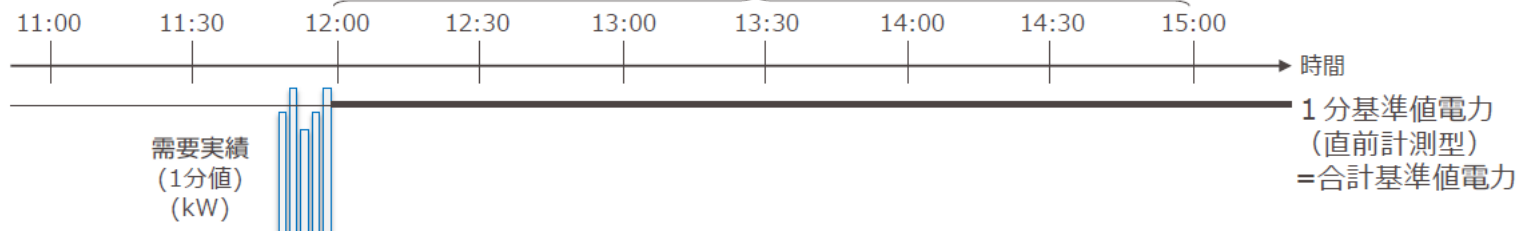
C. 需要家リスト・パターン(2/12)

111

- 需要リソースを用いる場合で直前計測型を選択し、簡易指令システムで接続するときは、約定した商品ブロック開始時刻の5分前から開始時刻までの1分ごとの需要実績（託送供給等約款で定める損失率で修正した値）を簡易指令システムを通じて属地TSOへ送信※1いただきます※2。
- 送信された5点の需要実績の平均が、1分基準値電力（直前計測型）（＝合計基準値電力）となり、これにもとづき、ΔKWのアセスメントおよび調整電力量の算定を行います。
 ※1 計測点5点のうち1点も送信されなかった場合は、供出可能量はゼロとして扱います。
 ※2 専用線オンラインで接続する場合は、属地TSOと調整した送信周期ごとの需要実績を専用線オンラインを通じて属地TSOへ送信していただきます。

【簡易指令システム接続リソースの場合】

商品ブロック



対象時刻	11:55	11:56	11:57	11:58	11:59
需要実績(kW)	2000	2050	1950	2000	2050

5点を平均

(注)送信されなかった点がある場合は、送信された点の平均を1分基準値電力（直前計測型）（＝合計基準値電力）とみなします。

対象時刻	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
合計基準値電力(kW)	2010	2010	2010	2010	2010	2010



取引規程 第6章 第34条

取引ガイド(三次調整力①)より抜粋

直前計測型基準値内訳実績の作成単位と提出期限（2／4）

2-6. 発電販売計画および
基準値計画の提出方法

C. 需要家リスト・パターン(3/12)

112

- 需要リソースを用いる場合で直前計測型を選択したとき、同一の需要家リスト・パターンが連続して三次調整力①に約定している場合は、最初の商品ブロック※の1分基準値電力（直前計測型）（＝合計基準値電力）を、当該連続して約定している商品ブロックのすべてに適用します。※取引規程では商品ブロックと記載する場合、商品を特定した提供期間を指しております。そのため、同一の直前需要を採用するのは三次調整力①への約定が連続する範囲となります。

商品区分：三次調整力①（三次調整力②にも供出可能量あり）、三次調整力①の基準値の設定方法：直前計測型の需要リソースの場合

<ケース1> 三次調整力①と三次調整力②の商品区分を跨がない連続約定

約定時間帯	ブロック① 0:00-3:00	ブロック② 3:00-6:00	ブロック③ 6:00-9:00	ブロック④ 9:00-12:00	ブロック⑤ 12:00-15:00
約定商品	三次調整力①	三次調整力①	三次調整力①	三次調整力①	三次調整力②
直前需要実績の提出	要 (23:55-0:00)	要 (2:55-3:00)	要 (5:55-6:00)	要 (8:55-9:00)	不要
合計基準値電力	ブロック①の 直前需要平均を 採用	ブロック①の 直前需要平均を 採用	ブロック①の 直前需要平均を 採用	ブロック①の 直前需要平均を 採用	需給調整市場 システム登録の 基準値採用

<ケース2> 三次調整力①と三次調整力②の商品区分を跨いで連続約定

同一商品（三次調整力①）で連続約定している場合、最初のブロックの直前実績を採用

約定時間帯	ブロック① 0:00-3:00	ブロック② 3:00-6:00	ブロック③ 6:00-9:00	ブロック④ 9:00-12:00	ブロック⑤ 12:00-15:00
約定商品	三次調整力①	三次調整力②	三次調整力①	三次調整力①	三次調整力②
直前需要実績の提出	要 (23:55-0:00)	不要	要 (5:55-6:00)	要 (8:55-9:00)	不要
合計基準値電力	ブロック①の 直前需要平均を 採用	需給調整市場 システム登録の 基準値採用	ブロック③の 直前需要平均を 採用	ブロック③の 直前需要平均を 採用	需給調整市場 システム登録の 基準値採用

異なる商品で連続約定している場合、三次調整力①が連続している中での最初のブロックの直前実績を採用



取引規程 第6章 第34条

直前計測型基準値内訳実績の作成単位と提出期限（3／4）

2-6. 発電販売計画および 基準値計画の提出方法

C. 需要家リスト・パターン(4/12)

113

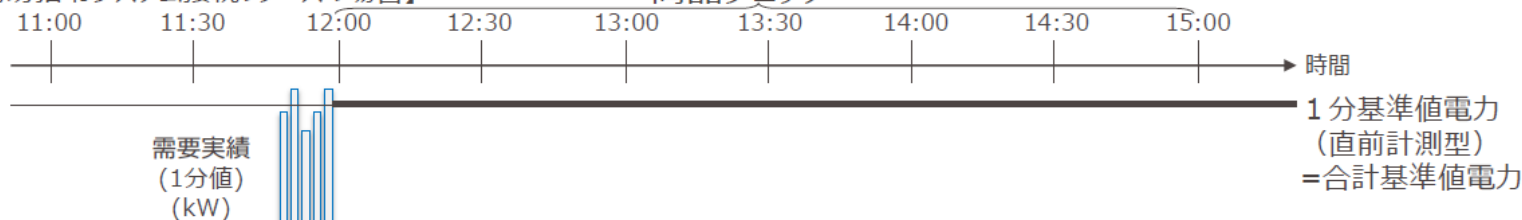
- 需要リソースを用いる場合で直前計測型を選択したときは、約定した商品ブロックの約定対象時間帯の直前計測型基準値内訳実績を約定した商品ブロック開始後から約定した商品ブロックの属する月の翌月10日までに、需給調整市場システムへ登録※いただきます。

※直前計測型基準値内訳実績の未提出または不備がある場合、供出可能量はゼロとして扱います。

- 小売電気事業者ごとの基準値は、1分基準値電力（直前計測型）を2で除した値を、当該30分コマの直前計測型基準値内訳実績の小売電気事業者ごとの基準値相当の需要実績を直前計測型基準値内訳実績の合計値で除した比率で按分した値（以下、「修正後基準値」といいます）とします。

【簡易指令システム接続リソースの場合】

商品ブロック



対象時刻	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
合計基準値電力(kW)	4000	4000	400	4000	4000	4000

対象時刻	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
基準値相当の需要実績 (小売電気事業者A)	500	400 ⇒421	400	450	500	500
基準値相当の需要実績 (小売電気事業者B)	1500	1500 ⇒1579	1600	1550	1500	1500

⇒直前計測型基準値内訳実績を約定した商品ブロック開始後から翌月10日までに登録いただきます。

合計基準値電力に合うように、小売電気事業者ごとの基準値を修正（比率



取引規程 第6章 第34条

取引ガイド(三次調整力①)より抜粋

直前計測型基準値内訳実績の作成単位と提出期限（４／４）

2-6. 発電販売計画および 基準値計画の提出方法

C. 需要家リスト・パターン(5/12)

114

- 小売電気事業者ごとの修正後基準値の合計値が1分基準値電力（直前計測型）を2で除した値と一致しない場合は、直前計測型基準値内訳実績のうち最初に記載された小売電気事業者の基準値は1分基準値電力（直前計測型）を2で除した値から、当該小売電気事業者以外の修正後基準値の合計値を差し引いた値とします。

対象時刻	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
合計基準値電力(kW)	2000	2000	2000	2000	2000	2000
基準値相当の需要実績 (小売電気事業者A)	400	400	400	400	400	400
基準値相当の需要実績 (小売電気事業者B)	200	200	200	200	200	200
基準値相当の需要実績 (小売電気事業者C)	400	300	400	400	400	400
合計	1000	900	1000	1000	1000	1000

直前計測型基準値内訳
実績のうち最初に記載さ
れた小売電気事業者の
基準値を差引により算出。

対象時刻	12:30
修正後基準値 (小売電気事業者A)	$400 \times 1000 \div 900 = 444.44$ ⇒ (小数第1位四捨五入) 444
修正後基準値 (小売電気事業者B)	$200 \times 1000 \div 900 = 222.22$ ⇒ (小数第1位四捨五入) 222
修正後基準値 (小売電気事業者C)	$300 \times 1000 \div 900 = 333.33$ ⇒ (小数第1位四捨五入) 333
合計	$444 + 222 + 333 = 999 \neq 1000$

修正後基準値の合計が、1分基準値電力（直前計測型）（＝
合計基準値電力）を2で除した値と一致しない

対象時刻	12:30
基準値 (小売電気事業者A)	$1000 - 222 - 333 = 445$
基準値 (小売電気事業者B)	222
基準値 (小売電気事業者C)	333
合計	1000



取引規程 第6章 第34条

直前計測型基準値内訳実績について

- ✓ 基準値は、約定した商品ブロック開始時刻の5分前から開始時刻までの1分ごとの5点の需要実績の平均が、1分基準値電力（直前計測型）（＝合計基準値電力）となります。
- ✓ 需給調整市場で約定した1ブロック毎に約定ブロックの基準値を需要BG単位に作成し、需給調整市場システムに約定したブロック開始後から翌月10日までに登録します。

【三次調整力①直前計測型基準値内訳実績 記載例（三次調整力①直前計測型基準値内訳実績入力支援ツール）】

□ : 必須入力箇所 ■ : 自動入力箇所 ■ : マクロで変更

三次調整力①直前計測型基準値内訳実績入力支援ツール

対象商品ブロック変更	対象年月日	20220403	読込ファイル名				
小売電気事業者数変更	対象商品ブロック	ブロック②	出力先				
基準値XML読込	対象需要家リスト・パターン	パターン①					
基準値XML出力			基本情報		出力ファイル名情報		
XMLファイル妥当性検証	情報区分	コード	名称▲	XMLファイル名	出力ファイル名		
終了(上書保存)	提出先事業者	10033	東京電力PG	対象時期の開始日	20220403		
	送信事業者	8***3	グローバルリソースアグリゲーター	約定対象開始コマ番号	07		
	提出者(アグリゲータ用系統コード)	3Y**5	グローバルリソースアグリゲーター	アグリゲータ用系統コード	3Y**5		
	運用モード	通常		電源等コード	MMS		

対象ブロック	#	時間帯	合計基準値(kWh)	基準値内訳			
				小売電気事業者1	小売電気事業者2	小売電気事業者3	小売電気事業者4
ブロック①	01	0:00~0:30					
	02	0:30~1:00					
	03	1:00~1:30					
	04	1:30~2:00					
	05	2:00~2:30					
ブロック②	06	2:30~3:00					
	07	3:00~3:30	8,500	1,500	2,000	3,000	2,000
	08	3:30~4:00	8,500	1,500	2,000	3,000	2,000
	09	4:00~4:30	8,500	1,500	2,000	3,000	2,000
	10	4:30~5:00	8,500	1,500	2,000	3,000	2,000
	11	5:00~5:30	8,500	1,500	2,000	3,000	2,000
	12	5:30~6:00	8,500	1,500	2,000	3,000	2,000
	13	6:00~6:30					
	14	6:30~7:00					

内訳の小売電気事業者数は任意に増減可能

“対象ブロック”以外は入力不可

合計基準値電力に合うように、小売電気事業者ごとの基準値を修正（比率按分）した値を入力します。

“対象ブロック”以外は入力不可

直前計測型基準値内訳実績の記載方法（対象年月日） 他

対象年月日	20220403
対象商品ブロック	ブロック②
対象需要家パターン	パターン⑧

データ項目	説明
対象年月日	当該計画が対象とする年月日。入力は，YYYYMMDDの数字8桁。
対象商品ブロック	当該計画が対象とする商品ブロック。商品ブロックの対象時間は下記の通り。 ・ブロック①：00時00分から03時00分まで ・ブロック②：03時00分から06時00分まで ・ブロック③：06時00分から09時00分まで ・ブロック④：09時00分から12時00分まで ・ブロック⑤：12時00分から15時00分まで ・ブロック⑥：15時00分から18時00分まで ・ブロック⑦：18時00分から21時00分まで ・ブロック⑧：21時00分から24時00分まで
対象需要家リスト・パターン	当該計画が対象とする需要家リストのパターン。 なお，通常運用で利用できる需要家リストのパターンは，パターン①～パターン⑳とする。

直前計測型基準値内訳実績の記載方法（基本情報）

基本情報		
	コード	名称▲
情報区分	0331	三次調整力①直前計測型基準値内訳実績
提出先事業者	10033	東京電力 P G
送信事業者	8***3	グローバルリソースアグリゲータ
アグリゲータ用系統コード	3Y**5	グローバルリソースアグリゲータ
運用モード	通常	

データ項目	説明
情報区分コード	当該計画の種別を示すコード。 “0331”（三次調整力①の直前計測型基準値内訳実績）固定。
提出先事業者コード	需給調整市場システムを介して計画を提出する一般送配電事業者を示すコード。 ・10011:北海道電力ネットワーク株式会社, ・10022:東北電力ネットワーク株式会社, ・10033:東京電力パワーグリッド株式会社, ・10044:中部電力パワーグリッド株式会社, ・10055:北陸電力送配電株式会社, ・10066:関西電力送配電株式会社, ・10077:中国電力ネットワーク株式会社, ・10088:四国電力送配電株式会社, ・10099:九州電力送配電株式会社, ・10100:沖縄電力株式会社
提出先事業者名称▲	提出先事業者の名称。入力有無は任意。
送信事業者コード	計画を提出する事業者の事業者コード(4桁)+提出先事業者コードの下1桁。 例)事業者コードXXXX 東京電力パワーグリッドエリアに提出 →送信事業者コード:XXXX3
送信事業者名称▲	送信事業者の名称
アグリゲータ系統コード	需給調整市場に入札するためのアグリゲータ用系統コード。2桁目“Y”。
アグリゲータ系統コード名称▲	需給調整市場に入札するためのアグリゲータの名称。入力有無は任意。
運用コード	「通常」は計画提出用。「テスト」はデータ試験用。

直前計測型基準値内訳実績の記載方法（出力ファイル名情報）

出力ファイル名情報	
XMLファイル名	W9_0331_20220403_07_3Y**5_MMS.xml
対象年月日	20210403
約定対象開始コマ	07
アグリゲータ用系統コード	3Y**5
電源等コード	MMS

データ項目	説明
XMLファイル名	以下のデータ項目を用いて作成。項目間は“_”(アンダーバー)とする。
BPID副機関コード	需給調整市場を示す“W9”固定。
情報区分コード	三次調整力①直前計測型基準値内訳実績を示す“0331”固定。
対象年月日	“対象年月日”の入力値が自動反映。
約定対象開始コマ	“対象商品ブロック”の選択値から下記の変換後の値を自動反映。 “ブロック①:01”, “ブロック②:07”, “ブロック③:13”, “ブロック④:19”, “ブロック⑤:25”, “ブロック⑥:31”, “ブロック⑦:37”, “ブロック⑧:43”
アグリゲータ用系統コード	“アグリゲータ系統コード”の入力値が自動反映。
電源等コード	需給調整市場システムへ登録したアグリゲーションコーディネータを示すコードを入力。

■ 注意事項

同一ファイル名の計画を受信した場合、需給調整市場システム内部では、先に提出された計画に、後から提出された計画が上書きされます(システム上、一旦提出された計画を取り下げることはできません)。

直前計測型基準値内訳実績の記載方法（基準値）

小売電気事業者数変更

合計基準値		基準値内訳	
		小売電気事業者 1	小売電気事業者2
合計基準値 = Σ基準値内訳	小売電気事業者コード	小売電気事業者コード	
	42**3	41**3	
	小売電気事業者名称	小売電気事業者名称	
	東京エナジー	関東でんき	
合計基準値(kWh) ▲		基準値(kWh)	基準値(kWh)
■ 注意事項 小売電気事業者数に合わせて、支援ツールの小売電気事業者数を増減させて下さい。 基準値に空白箇所があるとエラーとなります。			
	8,500	1,500	2,000
	8,500	1,500	2,000
	8,500	1,500	2,000
	8,500	1,500	2,000
	8,500	1,500	2,000
	8,500	1,500	2,000

データ項目	説明
合計基準値(kWh)	入力した基準値内訳を30分コマ毎に合計した値が自動反映。参考値。
小売電気事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を示す事業者コード。
小売電気事業者名称	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者の名称。入力有無は任意
基準値(kWh)	リソースの基準値を小売電気事業者毎の入力。なお、選択した“対象商品ブロック”に対し、当該商品ブロックの対象時間のみに基準値の入力を許可する。

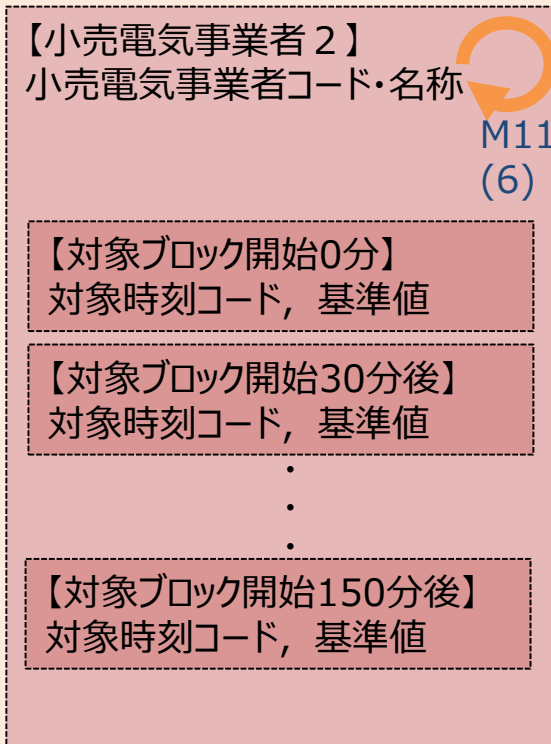
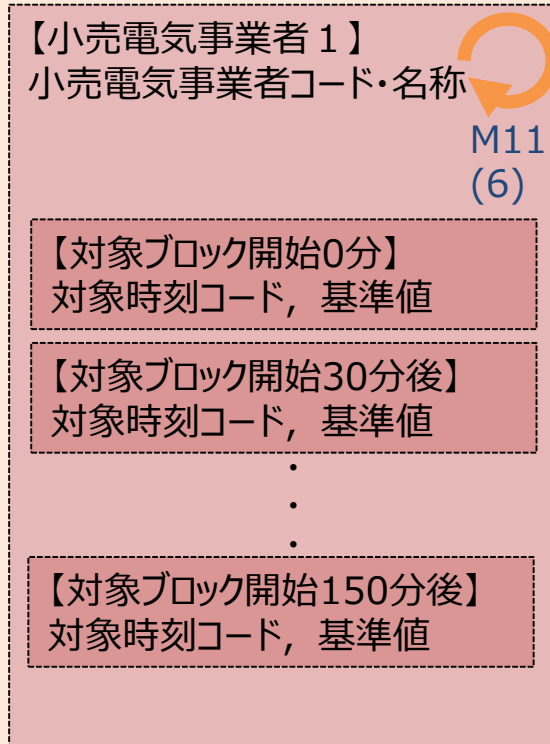
(参考) 直前計測型基準値内訳実績のXMLファイル構造

直前計測型基準値内訳実績のXMLファイル構造は下記の通りです。

【ヘッダ】

情報区分コード：0331, 送信者コード・名称, 受信者コード・名称, アグリゲータ用系統コード・名称, 対象年月日, 対象ブロック, 需要家リスト・パターン

【基準値内訳】



M10
(999)

...

1分発電計画電力計画の作成単位と提出期限（1 / 3）

- ・ 1分発電計画電力計画の提出方法は下記の通りです。

2-6. 発電販売計画および 基準値計画の提出方法

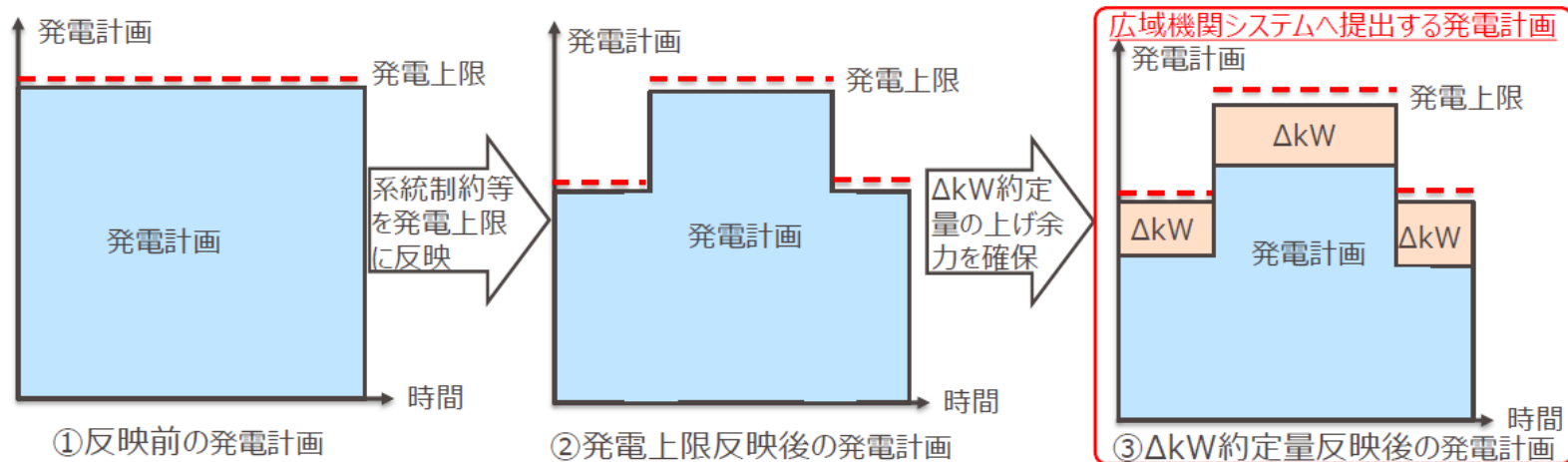
b. 発電機（1/3）

107

- 発電計画は下記項目を反映の上、広域機関システムへ発電販売計画の提出をお願いします。
- 需給調整市場の契約を締結している電源に関しては、約定の有無に関わらず、一律「調整電源」として発電販売計画を提出していただきます。

＜反映が必要な項目＞

- 発電上限：定格出力に対して、下例のような最大出力に影響を与える事象を適切に反映した発電可能上限値を記載。
 - ・ 湧水や海水温度上昇等による出力低下等発電機の機器特性による影響
 - ・ 発電機の作業に伴う運転出力の制約や系統作業に伴いTSOから提示された運転出力の制約
- 発電計画：上記の発電上限から ΔkW 約定量の出力上昇幅を確保したうえで、発電機の運転計画を策定。



取引ガイド(三次調整力①)より抜粋

取引規程 第6章 第34条

1分発電計画電力計画の作成単位と提出期限（2／3）

2-6. 発電販売計画および
基準値計画の提出方法

b. 発電機（2/3）

108

- 発電リソースを用いる場合で、簡易指令システムで接続し、出力変化量指令を選択したときは、約定した商品ブロックの約定対象時間帯の1分発電計画電力計画を約定した商品ブロックの開始時刻1時間前までに、需給調整市場システムへ登録※1いただきます。

※1 1分発電計画電力計画の未提出または不備がある場合、供出可能量はゼロとして扱います。

- なお、2ブロック以上連続して約定した場合でも、1分発電計画電力計画は約定した商品1ブロックにつき1ファイル作成および提出いただきます。

【約定ブロックと1分発電計画電力計画の提出期限例】

4月23日	～ ～	9:00～12:00	12:00～15:00	15:00～18:00	～ ～
約定有無	～ ～	無	有	無	～ ～
計画 提出要否		不要	必要(提出ファイル：1分発電計画電力計画)	不要	

▽ 提出期限(4月23日11時)

対象時刻	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
1分発電計画 電力計画	—	—	180	180	170	160	160	160

※実際には、30分コマごとのkWhに加えて、1分ごとの発電計画電力を含みます。
1分ごとの発電計画電力と発電販売計画は整合している必要があります。



取引規程 第6章 第34条

1分発電計画電力計画の作成単位と提出期限（3 / 3）

2-6. 発電販売計画および 基準値計画の提出方法

b. 発電機（3/3）

109

- 登録後に1分発電計画電力計画を変更する場合は、各30分コマの実需給の開始時刻の1時間前までに需給調整市場システムに再登録していただきます（商品ブロックの開始時刻の1時間前までに1分発電計画電力計画の登録が間に合わなかった場合は、再登録はできないものとします）。ただし、再登録をする1分発電計画電力計画に含まれる30分コマのうち、開始時刻が再登録をする時刻から1時間未満の30分コマの1分発電計画電力は、すでに登録されている1分発電計画電力計画の当該30分コマの1分発電計画電力から変更することはできないものとします。

【約定ブロックと1分発電計画電力計画の提出期限例】

4月23日	～	9:00～12:00	12:00～15:00	15:00～18:00	～
約定有無	～	無	有	無	～
計画提出要否		不要	必要(提出ファイル：1分発電計画電力計画)	不要	

▽ 登録時提出期限(4月23日11時)

登録時	対象時刻	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
(13:00以降の計画を変えたい)	1分発電計画電力計画	—	—	180	180	170	160	160	160

▽ 再登録時提出期限(4月23日12時)

再登録時	対象時刻	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
	1分発電計画電力計画	—	—	180	180	180	190	190	200

13時以降の計画を変更する場合は、12:00までに再登録していただく必要があります。

※例えば11:45に再登録する場合は、その1時間後である12:45分を含む30分コマより前の30分コマの計画値を変更することはできません。



取引規程 第6章 第34条

1分発電計画電力計画について

- ✓ 1分発電計画電力計画は、発電指令がない場合の30分あたりの発電計画(kWh)を発電BG単位に想定します。また、想定した合計発電計画値の1分値(kW)を30分 分記載します。
- ✓ 需給調整市場で約定した1ブロック毎に約定ブロックの発電計画値を発電BG単位に作成し、需給調整市場システムにゲートクローズまでに登録します。

【三次調整力①1分発電計画電力計画記載例（三次調整力①1分発電計画電力計画入力支援ツール）】

□ : 必須入力箇所 ■ : 自動入力箇所 ■ : マクロで変更

三次調整力①1分発電計画電力計画入力支援ツール

対象商品ブロック変更		対象年月日		20220403		読み込ファイル名			
発電事業者数変更		対象商品ブロック		ブロック②		出力先			
発電計画XML読み込									
発電計画XML出力									
XMLファイル妥当性検証									
終了(上書保存)									

		基本情報				出力ファイル名情報			
		コード	名称▲			XMLファイル名	W9_0431_20220403_07_3***5_MMS.xml		
情報区分		0431	三次調整力①1分発電計画電力計画			対象時期の開始日	20220403		
提出先事業者		10033	東京電力PG			約定対象開始コマ番号	07		
送信事業者		8***3	グローバルリソースエナジー			系統コード	3***5		
提出者(系統コード)		3***5	グローバルリソースエナジー			電源等コード	MMS		
運用モード		通常							

		発電計画内訳			
		発電事業者1	発電事業者2	発電事業者3	発電事業者4
合計発電計画		所属発電BGコード	所属発電BGコード	所属発電BGコード	所属発電BGコード
合計発電計画 = Σ 発電計画内訳		G**03	G**13	G**23	G**33
		所属発電BG名称▲	所属発電BG名称▲	所属発電BG名称▲	所属発電BG名称▲
		東京エナジー	関東でんき	六本木パワー	タワーレジデンス

対象ブロック	#	時間帯	合計発電計画(kWh)	30分平均発電計画				30分平均発電計画(kWh)				
				30分平均発電計画	30分平均発電計画	30分平均発電計画	30分平均発電計画	30分平均発電計画(kWh)	30分平均発電計画(kWh)	30分平均発電計画(kWh)	30分平均発電計画(kWh)	
ブロック①	01	0:00~0:30										
	02	0:30~1:00										
	03	1:00~1:30										
	04	1:30~2:00										
	05	2:00~2:30										
	06	2:30~3:00										
ブロック②	07	3:00~3:30	8,400	1,500	2,000	3,000	1,900					
	08	3:30~4:00	8,300	1,500	2,000	3,000	1,800					
	09	4:00~4:30	8,300	1,500	2,000	3,000	1,800					
	10	4:30~5:00	8,700	1,500	2,000	3,500	1,700					
	11	5:00~5:30	9,400	1,500	2,100	4,000	1,800					
	12	5:30~6:00	10,200	1,500	2,100	4,500	2,100					
	13	6:00~6:30										
	14	6:30~7:00										

合計発電計画値の1分値(kW)を30分 分入力

内訳の小売電気事業者数は任意に増減可能

“対象ブロック+前1時間”以外は入力不可

“対象ブロック+前1時間”以外は入力不可

1分発電計画電力計画の記載方法（対象年月日）他

対象年月日	20220403
対象商品ブロック	ブロック②

データ項目	説明
対象年月日	当該計画が対象とする年月日。入力は，YYYYMMDDの数字8桁。
対象商品ブロック	当該計画が対象とする商品ブロック。商品ブロックの対象時間は下記の通り。 ・ブロック①：00時00分から03時00分まで ・ブロック②：03時00分から06時00分まで ・ブロック③：06時00分から09時00分まで ・ブロック④：09時00分から12時00分まで ・ブロック⑤：12時00分から15時00分まで ・ブロック⑥：15時00分から18時00分まで ・ブロック⑦：18時00分から21時00分まで ・ブロック⑧：21時00分から24時00分まで

1分発電計画電力計画の記載方法（基本情報）

基本情報		
	コード	名称▲
情報区分	0431	三次調整力①1分発電計画電力計画
提出先事業者	10033	東京電力 P G
送信事業者	8***3	グローバルリソースエナジー
提出者系統コード	3***5	グローバルリソースエナジー
運用モード	通常	

データ項目	説明
情報区分コード	当該計画の種別を示すコード。 “0431”（三次調整力①の1分発電計画電力計画）固定。
提出先事業者コード	需給調整市場システムを介して計画を提出する一般送配電事業者を示すコード。 ・10011:北海道電力ネットワーク株式会社, ・10022:東北電力ネットワーク株式会社, ・10033:東京電力パワーグリッド株式会社, ・10044:中部電力パワーグリッド株式会社, ・10055:北陸電力送配電株式会社, ・10066:関西電力送配電株式会社, ・10077:中国電力ネットワーク株式会社, ・10088:四国電力送配電株式会社, ・10099:九州電力送配電株式会社, ・10100:沖縄電力株式会社
提出先事業者名称▲	提出先事業者の名称。入力有無は任意。
送信事業者コード	計画を提出する事業者の事業者コード(4桁)+提出先事業者コードの下1桁。 例)事業者コードXXXX 東京電力パワーグリッドエリアに提出 →送信事業者コード:XXXX3
送信事業者名称▲	送信事業者の名称
提出者系統コード	需給調整市場に入札するための提出者用系統コード。
提出者名称▲	需給調整市場に入札するための提出者の名称。
運用コード	「通常」は計画提出用。「テスト」はデータ試験用。

1分発電計画電力計画の記載方法（出力ファイル名情報）

出力ファイル名情報	
XMLファイル名	W9_0431_20220403_07_3Y**5_MMS.xml
対象年月日	20210403
約定対象開始コマ	07
系統コード	3***5
電源等コード	MMS

データ項目	説明
XMLファイル名	以下のデータ項目を用いて作成。項目間は“_”(アンダーバー)とする。
BPID副機関コード	需給調整市場を示す“W9”固定。
情報区分コード	三次調整力①1分発電計画電力計画を示す“0431”固定。
対象年月日	“対象年月日”の入力値が自動反映。
約定対象開始コマ	“対象商品ブロック”の選択値から下記の変換後の値を自動反映。 “ブロック①:01”, “ブロック②:07”, “ブロック③:13”, “ブロック④:19”, “ブロック⑤:25”, “ブロック⑥:31”, “ブロック⑦:37”, “ブロック⑧:43”
系統コード	“提出者系統コード”の入力値が自動反映。
電源等コード	需給調整市場システムへ登録した電源等を示すコードを入力。

■ 注意事項

同一ファイル名の計画を受信した場合、需給調整市場システム内部では、先に提出された計画に、後から提出された計画が上書きされます(システム上、一旦提出された計画を取り下げることはできません)。

1分発電計画電力計画の記載方法（発電計画）

発電事業者数変更

合計発電計画

発電計画内訳

発電事業者 1

発電事業者2

合計発電計画 =
Σ 発電計画内訳

所属発電BGコード

G**03

所属発電BGコード

G**13

所属発電BG名称

東京エナジー

所属発電BG名称

関東でんき

対象ブロック	対象30分 コマ番号	時間帯	合計発電計画(kWh) ▲	発電計画(kWh)	発電計画(kWh)
ブロック①	01	00:00～00:30	■ 注意事項 発電事業者数に合わせて、支援ツールの発電事業者数を増減させて下さい。 発電計画に空白箇所があるとエラーとなります。		
	02	00:30～01:00			
	03	01:00～01:30			
	04	01:30～02:00			
	05	02:00～02:30			
	06	02:30～03:00			
ブロック②	07	03:00～03:30	8,500	1,500	2,000
	08	03:30～04:00	8,500	1,500	2,000
	09	04:00～04:30	8,500	1,500	2,000
	10	04:30～05:00	8,500	1,500	2,000
	11	05:00～05:30	8,500	1,500	2,000
	12	05:30～06:00	8,500	1,500	2,000
ブロック③	13	06:00～06:30			
	14	07:30～07:00			

データ項目

説明

合計発電計画(kWh)

入力した発電計画内訳を30分コマ毎に合計した値が自動反映。

所属発電BGコード

提出事業者に電気を供給している発電BGを示すコード。

所属発電BG名称

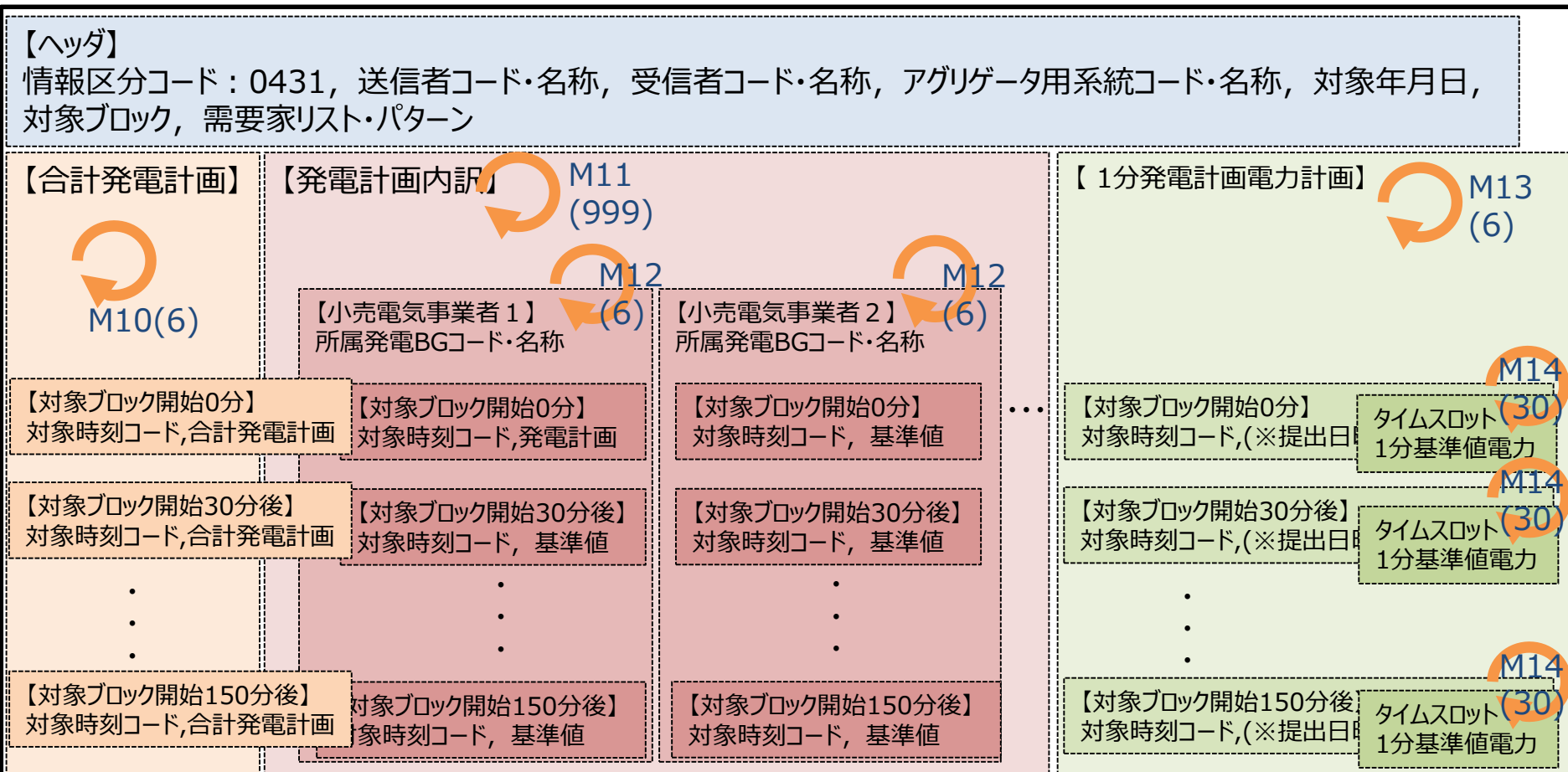
提出事業者に電気を供給している発電BGの名称。入力有無は任意

発電計画(kWh)

発電計画を発電BG毎に入力。なお、選択した“対象商品ブロック”に対し、当該商品ブロックの対象時間のみに発電計画の入力を許可する。

(参考) 1分発電計画電力計画のXMLファイル構造

・1分発電計画電力計画のXMLファイル構造は下記の通りです。



※提出日時（受付日時）

需給調整市場システム側のみ使用。（提出者は使用しない）

需給調整市場システムに発電計画が受け付けられた際、需給調整市場システムで受付時間を記載する

三次調整力①需要家リスト・パターン記載要領

需要家リスト・パターンのファイル作成単位について

✓ 需要家リスト・パターンは、各パターン毎に1ファイルを作成します。

【需要家リスト例】

需要家	パターン①	パターン②	パターン③	パターン④	パターン⑤
A	○	○	○	○	○
B	○	○	○		
C	○			○	
D	○		○		
E	○	○			○
F	○			○	

1パターン
1ファイル

1パターン
1ファイル

1パターン
1ファイル

1パターン
1ファイル

1パターン
1ファイル

【需要家リスト・
パターンの
ファイル例】

需要家	パターン①	需要家	パターン②	需要家	パターン③	需要家	パターン④	需要家	パターン⑤
A	○	A	○	A	○	A	○	A	○
B	○	B	○	B	○	C	○	E	○
C	○	E	○	D	○	F	○		
D	○								
E	○								
F	○								

需要家リスト・パターンについて

- ✓ 需要家リスト・パターンは、需給調整市場に統合制御して入札するリソースのポートフォリオです。
- ✓ 需要家パターンのXMLファイルは、入札するパターン毎に1ファイル作成し、需給調整市場システムに登録します。

【三次調整力①②需要家リスト・パターン入力支援ツール記載例】

□ : 必須入力箇所 ■ : 自動入力箇所 ■ : マクロで変更

需要家リスト・パターンの対象を
三次調整力①と三次調整力②から選択可能

三次調整力①②需要家リスト・パターン入力支援ツール				
対象商品変更	対象需要家リスト・パターン	パターン⑧	読み込みファイル名	
ネガワットリスト需要家数変更	供出可能量(kW)	63,303	出力先	
	適用開始希望年月日	20220403		
	基本情報		出力ファイル名情報	
需要家リストXML読込	コード	名称▲	XMLファイル名	W9_0231_20220403_3Y**5_08_MMS.xml
需要家リストXML出力	情報区分	0231	三次調整力①需要家リスト	対象時期の開始日
	提出先事業者	10033	東京電力 P G	3Y**5
	送信事業者	8***3	グローバルリソースアグリゲータ	需要家リスト・パターン番号
	アグリゲータ用系統コード	3Y**5	グローバルリソースアグリゲータ	08
XMLファイル妥当性検証			電源等コード	MMS
終了(上書保存)	運用モード	通常		

ネガワットリスト									
需要家情報						小売電気事業者情報		他需要抑制契約の状況	
NO	供給地点特定番号	需要家名称	所在地	契約電力(kW)	電圧区分	供出方法	小売電気事業者コード	小売電気事業者名称	類型 I ② 需要抑制BGコード
1	03111111111111111111	東京工場	東京都大田区○-○-○	5,856	特高	需要抑制	422*3	P2Pネット	***3
2	03222222222222222222	神奈川工場	神奈川県川崎市△-△-△	7,152	特高	需要抑制	422*3	P2Pネット	***3
3	03333333333333333333	千葉工場	千葉県千葉市●-●-●	1,782	特高	電源(自家発電)	433*3	地球パワー	無
4	03444444444444444444	埼玉工場	埼玉県さいたま市◎-◎-◎	4,300	特高	需要抑制	418*4	次世代パワー	無
5	03555555555555555555	群馬工場	群馬県太田市□-□-□	5,000	特高	需要抑制	433*3	地球パワー	無
6	03666666666666666666	栃木工場	栃木県宇都宮市▲-▲-▲	1,900	高圧	需要抑制	433*3	地球パワー	無
7	03777777777777777777	茨城工場	茨城県土浦市◆-◆-◆	3,100	特高	電源(自家発電)	433*3	地球パワー	無
8	03888888888888888888	静岡工場	静岡県沼津市×-×-×	9,400	特高	電源(自家発電)	433*3	地球パワー	無
9	03999999999999999999	東京物流センター	東京都多摩市○-×-△	1,114	特高	需要抑制	433*3	地球パワー	無
10	03321321321321321321	栃木VPP研究所	栃木県那須塩原市○-●-●	49	低圧	需要抑制	433*3	地球パワー	無

任意に
増減
可能

需要家リスト・パターンの記載方法（対象年月日）他

対象需要家リスト・パターン	パターン⑧
供出可能量(kW)	63,303
適用開始希望年月日	20220403

データ項目	説明
対象需要家リスト・パターン	当該需要家パターンの番号。なお、通常運用で利用できる需要家リストのパターンは、パターン①～パターン⑳とする。
供出可能量(kW)	当該需要家リスト・パターンに記載されているリソースのポートフォリオにおいて、属地エリアの一般送配電事業者の指令にもとづく発電または需要抑制により供出できる量(kW)
適用開始希望年月日	当該需要家リスト・パターンの適用を希望する年月日。入力は、YYYYMMDDの数字8桁。

需要家リスト・パターンの記載方法（基本情報）

基本情報		
	コード	名称▲
情報区分	0231	三次調整力①需要家リスト・パターン
提出先事業者	10033	東京電力 P G
送信事業者	8***3	グローバルリソースアグリゲータ
アグリゲータ系統コード	3Y**5	グローバルリソースアグリゲータ
運用モード	通常	

データ項目	説明
情報区分コード	当該計画の種別を示すコード。“0231”（三次調整力①需要家リスト・パターン）固定。 将来、高次商品に対応できるよう次のコードを予約。 ・0232:三次調整力②需要家リスト・パターン,・0231:三次調整力①需要家リスト・パターン, ・0222:二次調整力②需要家リスト・パターン,・0221:二次調整力①需要家リスト・パターン
提出先事業者コード	需給調整市場システムを介して計画を提出する一般送配電事業者を示すコード。 ・10011:北海道電力ネットワーク株式会社,・10022:東北電力ネットワーク株式会社, ・10033:東京電力パワーグリッド株式会社,・10044:中部電力パワーグリッド株式会社, ・10055:北陸電力送配電株式会社,・10066:関西電力送配電株式会社, ・10077:中国電力ネットワーク株式会社,・10088:四国電力送配電株式会社, ・10099:九州電力送配電株式会社,・10100:沖縄電力株式会社
提出先事業者名称▲	提出先事業者の名称。入力有無は任意。
送信事業者コード	需要家リストを提出する事業者の事業者コード(4桁)+提出先事業者コードの下1桁。 例)事業者コードXXXX 東京電力パワーグリッドエリアに提出 →送信事業者コード:XXXX3
送信事業者名称▲	送信事業者の名称
アグリゲータ系用統コード	需給調整市場に入札するためのアグリゲータ用系統コード。2桁目“Y”。
アグリゲータ用系統コード名称▲	需給調整市場に入札するためのアグリゲータの名称。入力有無は任意。
運用コード	「通常」は計画提出用。「テスト」はデータ試験用。

需要家リスト・パターンの記載方法（出力ファイル名情報）

出力ファイル名情報	
XMLファイル名	W9_0231_20210403_3Y**5_08_MMS.xml
対象時期の開始日	20220403
系統コード	3Y**5
需要家パターン	08
電源等コード	MMS

データ項目	説明
XMLファイル名	以下のデータ項目を用いて作成。項目間は“_”(アンダーバー)とする。
BPID副機関コード	需給調整市場を示す“W9”固定。
情報区分コード	三次調整力①需要家リスト・パターンを示す“0231”固定。
対象時期の開始日	“適用開始希望年月日”の入力値が自動反映。
アグリゲータ系統コード	“アグリゲータ用系統コード”の入力値が自動反映。
対象需要家リスト・パターン番号	“対象需要家リスト・パターン”の入力値から需要家リスト・パターン番号が自動反映。
電源等コード	需給調整市場システムへ登録したアグリゲーションコーディネータを示すコードを入力。

需要家リスト・パターンの記載方法（ネガワットリスト）

ネガワットリスト

需要家情報							小売電気事業者情報		他需要抑制契約の状況
NO	供給地点特定番号	需要家名称	所在地	契約電力(kW)	電圧区分	供出方法	小売電気事業者コード	小売電気事業者名称▲	類型Ⅰ② 需要抑制BGコード
1	03111111111111111111	東京工場	東京都大田区〇-〇-〇	5,856	特高	需要抑制	LA2*3	P2Pネット	****3
2	03222222222222222222	神奈川工場	神奈川県川崎市△-△-△	7,152	特高	需要抑制	LA2*3	P2Pネット	****3

データ項目	説明
供給地点特定番号	ネガワットリソースの供給地点特定番号。入力は数字22桁。
需要家名称	ネガワットリソースの需要家名称。
所在地	ネガワットリソースの所在地。
契約電力(kW)	ネガワットリソースの契約電力。
電圧区分	ネガワットリソースの供給電圧。“特高”，“高圧”，“低圧”より選択。
供出方法	ネガワットリソースの調整力供出方法。“需要抑制”と“電源（自家発等）”より選択。
小売電気事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を示す事業者コード。
小売電気事業者名称▲	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者の名称。入力有無は任意。
類型Ⅰ② 需要抑制BGコード	ネガワットリソースが類型Ⅰ②も契約している場合，次類Ⅰ②需要抑制BGコードを入力。契約が無い場合は，“無”を入力。

ネガワットリスト
需要家数変更

■ 注意事項

当該需要家リスト・パターンの需要家数に合わせて，支援ツールの需要家数を増減させて下さい。
需要家情報において，空白項目があるとエラーとなります。

(参考) 需要家リスト・パターンのXMLファイル構造

需要家リスト・パターンのXMLファイル構造は下記の通りです。

【ヘッダ】

情報区分コード：0231, 送信者コード・名称, 受信者コード・名称, アグリゲータ用系統コード・名称, 適用開始希望年月日, 需要家リスト・パターン, 供出可能量

【ネガワットリスト】

【需要家No.1】

供給地点特定番号, 需要家名称, 所在地, 契約電力(kW), 電圧区分, 供出方法,
小売電気事業者コード・名称, 類型 I ②需要抑制BGコード

【需要家No.2】

供給地点特定番号, 需要家名称, 所在地, 契約電力(kW), 電圧区分, 供出方法,
小売電気事業者コード・名称, 類型 I ②需要抑制BGコード

・
・
・



M10
(9,999)

提出ファイルの整合性・妥当性確認について

需要家リスト・パターンと基準値計画の整合性確認について

基準値計画は、需給調整市場で約定して供出するリソースとして登録した需要家リスト・パターンと下記のコードを一致させる必要があります。

- ・対象需要家リスト・パターン：約定ブロックの供出リソースとして登録した需要家リスト・パターンと一致させます。
- ・提出先事業者コード：常に需要家リスト・パターンと基準値計画のコードを一致させます。
- ・送信事業者コード：常に需要家リスト・パターンと基準値計画のコードを一致させます。
- ・アグリゲータ用系統コード：常に需要家リスト・パターンと基準値計画のコードを一致させます。

【三次調整力①需要家リスト・パターン入力支援ツール】 【三次調整力①基準値入力支援ツール】

☐ : 必須入力箇所
☐ : 自動入力箇所

ネガワットリスト需要家数変更
 需要家リストXML読込
 需要家リストXML出力
XMLファイル妥当性検証
 終了(上書保存)

需要家リスト・パターン入力支援ツール
 対象需要家リスト・パターン
 供出可能量(kW) **63,303**
 適用開始希望年月日 **20210418**

パターン⑧

一致を確認

基本情報
 コード
 情報区分 **0231**
 提出先事業者 **10033**
 送信事業者 **8***3**
 提出者(アグリゲータ用系統コード) **3Y**5**
 運用モード 通常

一致を確認

ネガワットリスト 需要家情報		
NO	供給地点特定番号	需要家名称
1	03111111111111111111	東京工場
2	03222222222222222222	神奈川工場
3	03333333333333333333	千葉工場
4	03444444444444444444	埼玉工場
5	03555555555555555555	群馬工場
6	03666666666666666666	栃木工場
7	03777777777777777777	茨城工場
8	03888888888888888888	静岡工場
9	03999999999999999999	東京物流センター
10	03321321321321321321	栃木VPP研究所

☐ : 必須入力箇所
☐ : 自動入力箇所
☐ : マクロで変更

対象商品ブロック変更
 小売電気事業者数変更
 基準値XML読込
 基準値XML出力
XMLファイル妥当性検証
 終了(上書保存)

基準値入力支援ツール
 対象年月日 **20220403**
 対象商品ブロック **ブロック②**
 対象需要家リスト・パターン **パターン⑧**

一致を確認

基本情報
 コード
 情報区分 **0131**
 提出先事業者 **10033**
 送信事業者 **8***3**
 提出者(アグリゲータ用系統コード) **3Y**5**
 運用モード 通常

一致を確認

合計基準値		
合計基準値 = Σ基準値計内訳		
基準値計画合計(kWh) ▲		
対象ブロック	対象30分 コマ番号	時間帯
ブロック①	47	23:00~23:30
	48	23:30~24:00
	01	00:00~00:30
	02	00:30~01:00
	03	01:00~01:30
	04	01:30~02:00
	05	02:00~02:30
ブロック②	06	02:30~03:00
	07	03:00~03:30
	08	03:30~04:00
		8,900
		8,600
		8,400
		8,300

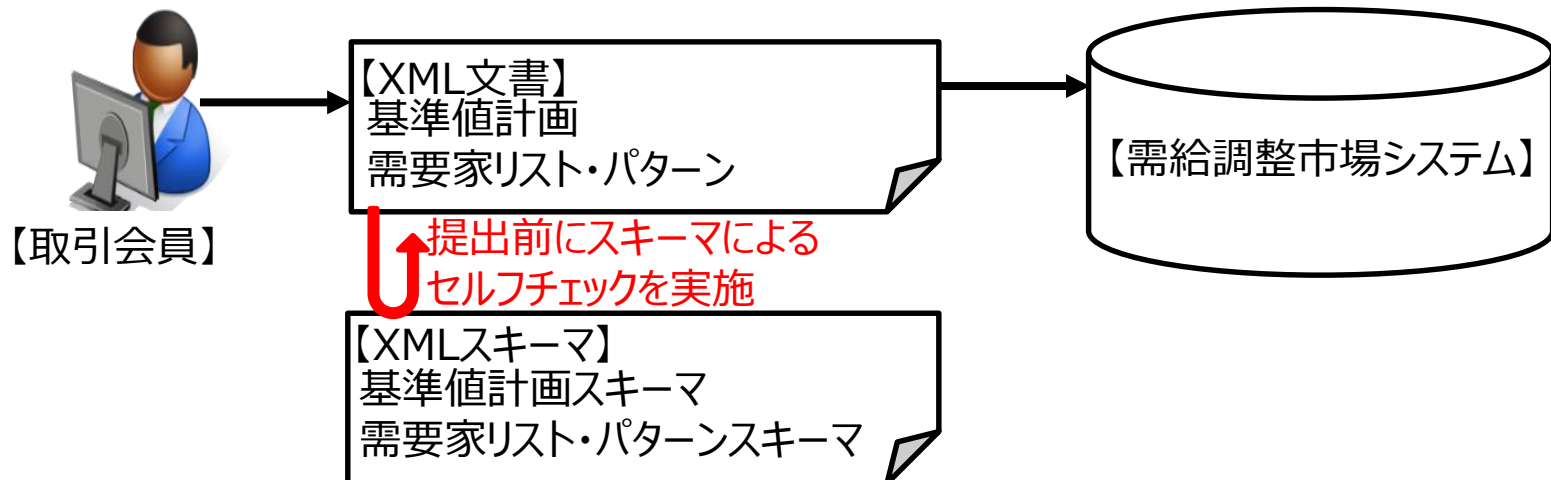
XMLファイルの妥当性確認について

基準値計画および需要家リスト・パターンの入力支援ツールは、XMLファイルの読み込みおよび出力の際、XMLスキーマによる妥当性確認を実行します。XMLスキーマによってエラーが検出されたXMLファイルについては、エラー修正の上、需給調整市場システムへ登録をお願いします。

入力支援ツール以外で、基準値計画および需要家リスト・パターンのXMLファイルを作成する場合は、需給調整市場システムへ登録前に、必ずXMLスキーマによる妥当性確認を実施して下さい。基準値計画および需要家リスト・パターンに対応するスキーマファイル名は下記の通りです。

- ・基準値計画： OCTO-W9-0131-001.xsd
- ・需要家リスト・パターン： OCTO-W9-0231-001.xsd

【基準値計画および需要家リスト・パターン提出時の妥当性確認】



以上